

第21回通常総代会 令和元年度第1回地区別懇談会Q&A

第21回 通常総代会

JAさっぽろ第21回通常総代会が6月28日(金)午後2時より共済ホールにて開催されました。総代出席者は、本人出席255名、書面議決301名、委任状4名の合計560名。開会宣言後、以下の次第に沿って進められました。



次 第

- 1、開会
- 2、JA綱領唱和
- 3、代表理事組合長挨拶
- 4、来賓祝辞
- 5、議長選出
- 6、書記の指名
- 7、議案審議
- 8、決議案上程・採択
- 9、閉会



代表理事組合長挨拶抜粋

昨年は、米中の貿易戦争、イギリスのEU離脱、中東問題など、海外経済に不透明感が漂い始め、穏やかに続いていた国内景気もやや減速模様であったように思います。こうした中、日銀は依然として2%の物価安定目標を堅持し、その達成の為に現行の金融政策を継続することとしており、当面は超低金利時代が続くものと覚悟するところです。

農業情勢では、長年に亘り交渉運動を続けていた国際貿易交渉が、昨年12月30日にTPP11、今年2月1日に日EU、EPAがそれぞれ発効されました。この自由



▲ご出席いただいた方々に向け、挨拶を述べる藤田組合長。

貿易の影響は既に拡大化しており、特に協定発効2年目となる4月以降には肉、乳製品、ワインなど、輸入拡大に拍車がかかり、店頭での安売りが一層目につくようになりました。更に、日米二国間の貿易交渉が既にスタートしており、6月に入って閣僚級の協議が進んでいると聞きます。交渉の内容は見通せないところですが、北海道農業への更なる影響が懸念されており、自国の食糧安保の議論なくして、農畜産物の市場開放には大きな不安が募るばかりです。

また、農協改革では農協法の改正に伴う今年5月迄の改革集中推進期間が終了し、一応の区切りを迎えました。しかし、JAグループの自己改革について引き続き政府主導の追跡調査・管理の言葉も見え隠れしており、准組合員利用規制などと合わせ根本解決には至っておりません。

昨年の地域農業は6月の低温・日照不足による作物の生育遅れ、7月の豪雨、そして9月5日の台風21号の上陸、更に翌日の胆振東部地震、それに伴うブラックアウトなど、これまで経験したことのない自然災害に見舞われた年でした。台風・地震による家屋・農業施

設の損壊など、建更の罹災件数は1,300件を超え、被災された組合員の皆さまには改めてお見舞い申し上げます。

昨年は、9月24日に合併20周年感謝祭を開催させていただきました。5,000名を超える組合員とそのご家族の皆さまに参加いただきました。改めて組合員の皆さま、地域の皆さまに支えられての20年であったことを役員一同、再認識する一日となりました。

また、第3次中期経営計画の最終年度にあたり、各事業の体制強化を図ってまいりました。一端を申し上げますと、経済事業では厚別支店に新たに直売所を新設、また販売専門担当者3名を増員し、有利販売・販路拡大に努めてまいりました。相談事業では、19名の「よろずサポート相談員」を配置し、資産の活用・資産の組替え、あるいは税対策を含めた相続相談に対応できる体制を整備してまいりました。信用事業では、様々な資金ニーズに応えられるよう各支店に融資マネージャーを配置しました。

これらを始めとした事業推進により、平成30年度の事業総利益は、計画を大きく上回り40億

1,700万円となり、前年対比105.4%となりました。一方、事業管理費では計画内の98.5%と5,000万円程、経費の削減をいたしました。結果、本業の儲けである事業利益は5億7,100万円となり、合併以来の最高益を計上する事ができました。これも偏に組合員皆さまのご利用、ご支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。

剰余金の処分案につきましては、当期末処分剰余金7億6,000万円として、利益準備金・任意積立金に3億5,600万円、出資配当金は基本としてまいりました1.2%に0.3%を上積みし、1.5%として本総代会にご提案申し上げます。

令和元年・新年度のスタートにあたり、当面の課題認識としていくつかの整理をいたしました。各事業の取組み施策について、今年スタートする第4次中期3カ年経営計画に沿って完全に遂行できるように全力で取り組んでまいります。

日銀の金融緩和策は、近時の世界経済の動向に照らして更に長期化する可能性が高まっており、引き続き運用利回りの低下、共済

付加収入の減少など収益に大きな影響があるものと思慮いたします。加えて少子高齢化・人口の減少に伴う市場の変化、更には1丁化によるモバイル決済・決済革命など店舗に代わるチャネルの普及動向も注視されております。こうした市場の変容による、構造の変化・環境の変化を的確に把握し、むしろこの機会を改革推進のまたとないチャンスと捉え、将来に渡って環境の変化に耐えうるビジネスモデルの再構築にスピード感を持って取り組んでまいります。

「コンパクトな組織」、「コストの掛らない組織」、「スピード感のある組織」そして、最大の利益を組合員皆さまに還元できる組織であることに全力を傾注し、札幌の農業を振興し、地域を支える組織として組合員皆さまの負託に応えられるよう、役員員一丸となって努めてまいります。



▲議長は豊平地区の笹出和彦さんに務めていただきました。

議案

議案第1号

平成30年度事業報告、剰余金処分案の承認について

議案第2号

第四次中期3カ年経営計画並びに令和元年度(平成31年度)事業計画の設定について

議案第3号

『監事監査規程』の一部変更について

議案第4号

会計監査人の選任について

議案第5号

役員報酬の支給について

議案第6号

退任役員に対する退職慰労金の支給について

議案第7号

役員を選任について

附帯決議一件

その他決議一件

皆さまにご協力・ご理解をいただき、全て原案通りに可決決定され、午後4時31分に閉会いたしました。

退任役員のご挨拶



砂川 昌勝
(学識経験者)

今回の総代会の終結をもちまして、1名の理事が退任し、新任役員について総代の皆さまよりご承認いただきましたので、それぞれご挨拶申し上げます。

退任にあたり一言御礼を申し上げます。

昭和52年7月にUターン転職で職員として中途入組し、当時の石山支店を振り出しに藻岩・石山月寒・新川・伏古・丘珠・篠路の各支店を経て、本店融資審査部・金融部を担当し、勤続37年で定年退職となりました。その後、平成26年7月から信用担当常務理事として1期、平成29年から専務理事として2年、合わせて5年に亘り常勤役員を務めてまいりました。

この間、多くの組合員の皆さま、役員並びに系統関係機関の皆さまをはじめ、地域の皆さま方には公私に亘り温かいご指導、ご支援

を賜り、心より感謝申し上げます。

J Aさつぽろは、平成31年4月から第四次中期3カ年経営計画がスタートし、5月には元号が令和に変わり3カ月が経過しております。

平成26年に始まった農協改革集中推進期間では、令和1年5月を期限として全国のJ Aが事業運営の方向性を3つの中から選択して組織決定し、報告することになっていました。

J Aさつぽろは、3月の理事会で今後の方向性について「合併や信用事業譲渡などの組織再編は行わず、単独で経営基盤を確立する」と決定しております。

これにより、持続可能な事業運営を目指し新たな3カ年経営計画を策定したところです。J Aを取り巻く経営環境は、今後益々厳しさを増していくものと見込まれますが、環境変化に柔軟に対応する事業運営体制を確立して、組合員、地域社会とのつながりを大切にし、「信頼されるJ A」の実現に向けて、組合員の皆さまと共に役員一丸となって取り組むことが重要と考えております。今後ともJ A事業の利用と集いをいただ

ますようお願い申し上げます。

最後になりますが、J Aさつぽろの益々の繁栄と、組合員の皆さま、役員員の皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。

平成26年7月 常務理事就任
平成29年7月 専務理事就任

新任役員のご挨拶



丸岡 晃
専務理事
(学識経験者)

この度、専務理事にご推挙いただき就任いたしました丸岡でございます。このような重責を担うこととなり、大変身の引き締まる思いでございます。

国際貿易交渉の進捗や長期化する日銀の金融緩和など、農業やJ Aを取り巻く環境は一層の厳しさを増しています。

このような変革期におけるJ A組織基盤の強化を図り、次なる成長ステージを実現すべく、今年度

から始まる「第四次中期3カ年経営計画」を組合員皆さまとの対話を重視しながら、しっかりとすすめてまいります。

もとより浅学非才の身ではありますが、皆さまのご期待に沿うよう精一杯努力してまいりますので、

何卒前任者同様、格別のご厚誼ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

組合員皆さまの益々のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。



令和元年度

第1回地区別懇談会

Q & A

6月12日(水)から14日(金)にかけ、全12地区で地区別懇談会を、14日(金)の夜には今年度より初めての試みとして夜間懇談会を開催いたしました。

各懇談会には、常勤役員および各室・部長が2班に分かれて出席し、平成30年度の決算事業報告を行った後、ご出席いただいた組合員の皆さまより貴重なご意見・ご質問をいただきました。



厚別地区

総務部門

Q. 過去の支店再編で店舗を廃止した時の固定資産処分に関わる売却益は、最終的にどこに使われたのですか。

(新琴似地区)

A. 支店再編に伴い廃止店舗を売却した経緯はありません。再編の形態につきましては、当時賃借中であった店舗については、契約に基づきお返ししております。また、当組合の所有物件については、現在、賃貸不動産として資産活用をしている状況です。

Q. 理事の内、代表権を持っているのは何名ですか。また、実践的能力者とはどのような人を指すのですか。

(厚別地区)

A. 代表権を持っているのは、組合長と副組合長の2名です。また、実践的能力者とは、経営者の経験があるなど当組合が行なう様々な事業に対して、実務経験や実務能力がある人を指します。

Q. 専門委員会が廃止されました

が、そのことによる弊害はありませんか。

(夜間懇談会)

A. 以前は3つの専門委員会がありました。現在は1つの会議体で協議しております。協議事項に対して役員全員で話し合うため、スリム化され共有も図られていると考えております。

Q. 平成30年度の事業利益が過去最高益となったとのことですが、その大きな要因は何ですか。

(夜間懇談会)

A. 要因として、1つ目は信用事業の貯金事業量が計画よりも高めに推移したことによる信連受取奨励金が増加したこと、2つ目は相談事業の宅地等供給事業における売買仲介手数料が計画よりも上回ったこと、3つ目は共済事業で貯蓄性商品が年度末に集中して契約が獲得できたことに加え、事業管理費の圧縮が図れたことが挙げられます。

Q. 自己資本比率の強化策の一つとして、職員の出資増口を促して

はどうですか

(夜間懇談会)

A. 職員は准組合員として出資し

ております。増口については、今後の検討事項としてまいります。

Q. 札幌協同振興(株)の取締役の報酬体系はどのようになっていきますか。

(夜間懇談会)

A. 当組合から出向している職員に対し、役員報酬という体系を取っています。その他の取締役に対する報酬はありません。

人事部門

Q. 経済センターの体制について、本店職員の余剰人員で、出向く体制を強化して欲しい。

(新琴似地区)

A. 本店の職員も今年の人事異動で人員を減らしております。また、経済部門は専門性が高い部署であり、誰にでもできるわけではないためご理解いただきたい。

Q. 役員報酬を減額する理由を説明願います。

(篠路地区、夜間懇談会)

A. 北海道信連からの奨励金が段階的に減額されることに伴い、

職員の人件費等の事業管理費を減額する計画です。ただ職員にばかり負担をかけられないため、まずは役員からと考え、役員報酬を減額することとしました。

Q. 今年度は新入職員の採用はありませんでした。来年度は何人くらいの採用を考えていますか。また、採用人数の内、経済部門に配置される人員はどれくらいですか。 (南地区)

A. 高校卒業見込者の採用再開を含め、新入職員の採用を予定しております。なお、採用人数につきましては、現状では未定であり、経済部門の配置人数についても未定です。

Q. 中期3カ年経営計画の実施項目として、「適正な職員体制とやる気向上」を掲げており、その方策として役職定年制を導入する計画ですが、その概要について説明願いたい。また、導入した場合、逆にやる気は薄れるのではないですか。職員体制のみならず役員の体制も含めて検討してみたいかがです。

Q. (手稲地区、夜間懇談会) 組織の活性化を図るため、若い人材を積極的に登用したいという考えに基づいた計画であります。役員体制については、今後検討してまいります。

Q. 職員の意識改革として、定期的な世代別などで研修を行なっているのですか。(夜間懇談会)

A. 職員には階層別に研修を受講させております。

経営企画部門

Q. 第四次中期3カ年経営計画で、毎年事業利益が減少していき、努力が不足しているのではないですか。(中央地区)

A. 北海道信連からの奨励金が段階的に削減されることに伴い、令和4年度の事業利益は、平成30年度の実績数値から4億円程減少し、約1億7千万円になることが予測されます。中期3カ年経営計画では、様々な方策を講じて対応することとしておりますが、現状での最低ラインを計画数値として示しております。

Q. 広報誌に営農に関わる記事を掲載して欲しい。(新琴似地区)

A. 引き続き普及センターからの情報等を掲載してまいります。

Q. 令和元年度の事業計画として、経営の効率化として組織体制の効率化とありますが、店舗再編ありきではないのですか。具体的な計画内容を説明して欲しい。(新琴似地区)

A. 将来に向かい店舗を現状どおり維持できるかどうか検討中であり、方向性が定まりましたら事前に該当地区に説明し、ご理解を得ながら総代会での承認等、必要な手続きを進めてまいります。

Q. 指導事業支出の科目について、具体的な支出内容を説明願います。(新琴似地区)

A. 営農指導に係る費用や生産部会、青年部、女性部への助成金、他、人間ドックの助成金や広報誌の発行費用等となります。

Q. 第四次中期3カ年経営計画では縮小の方向性しか見えませんが、組合員の高齢化も相当進ん

でいます。これからのJAさっぽろはどのような方向性かと考えているのですか。(平岸地区)

A. 現在の超低金利が今後も継続すると想定されることから、他金融機関も店舗や人員の合理化を進めており、当組合もその流れを避けて通ることができないと考えております。脆弱な経営基盤では組合員の期待に応えることができなくなるため、まずは経営基盤を盤石なものにし、相談機能を充実することで組合員の期待に応えてい



西町地区

く考えです。

内部監査部門

Q. 今年から公認会計士監査が始まりますが、監査報酬等はどうなりますか。(中央地区)

A. みのり監査法人に支払う報酬と中央会に支払う賦課金の合計額は従前より減額となる予定です。

Q. 監査を依頼する「みのり監査法人」には全中から職員が転籍して監査に当たるとの事ですが、監査が甘くなるようなことはありませんか。(中央地区)

A. みのり監査法人は全中から独立した法人であり、監査が甘くなるようなことはありません。

Q. 監査法人は必要に応じて変更できますか。(中央地区)

A. 変更することは可能です。その場合、総代会の承認が必要など諸手続きを踏む必要があります。

Q. 全国監査機構では、会計監査以外にも業務監査を通じた指導



白石地区

等がありました。が、今後はどのようなになりますか。(中央地区)

A. 中央会は組織が改編されますが、従前どおり業務監査を行いますので、必要な指導を受けることが可能です。

金融部門

Q. 北海道連からの奨励金が削減されるとのことですが、農林中央金庫や北海道連をはじめとした連合会は、費用削減等

の努力をしているのでしょうか。単協にしわ寄せしているのではないかと感じます。(平岸地区)

A. JAグループ全体で費用削減に努めてまいります。

Q. 北海道連への預金が増えた場合、特別奨励金はあるのですか。(夜間懇談会)

A. ありません。

相談部門

Q. 年に1回程度、相続の節税対策等の指導、研修等について専門家を呼んで開催して欲しい。

(白石地区)

A. 資産管理部会や青色申告会の各部会において、専門家による研修会を開催しておりますが、各支店相談課に配置した「よろずサポート相談員」が、専門家と連携しながら、個々の事情に即したアドバイスを差し上げることもできますので、是非ご相談願います。

経済部門

Q. 組合員の高齢化により、生産の形態も変化しているので、JAはもともと生産者の声を聞き、実態に合った農協経営を目指して欲しい。(新琴似地区)

A. 今年度の経済部門に係る方針の中で、実施項目として組合員の所得向上が掲げられておりますが、人員体制が少なく組合員宅へ出向けなくなっているように感じます。これでは組合員所得向上に繋がらないと思います。組合員サービスや所得向上に繋がる具体的な体制づくりを要望します。(南地区)

A. 所得を向上させるには、様々な方策が考えられます。組合員の高齢化もあり、耕作面積の拡大や生産物の運搬に課題を抱えており、今まで以上に効果的な生産コストの削減や効率的な販売方法に取り組んでまいります。

Q. 部門別損益計算書で赤字の部門があるようですが、解消の見通しはありますか。(厚別地区)

A. 当組合は都市型農協であること



平岸地区

とから、信用、共済部門は利益を上げることができませんが、経済部門は赤字となる傾向にあります。今後、信用、共済部門の収支も厳しくなることが予測されており、経済部門の赤字圧縮を検討しております。

Q. 経済センターの合理化を検討することですが、これまでの経緯をみると単に施設を減らすだけになるのではないかと危惧しています。専門の委員会を立ち上げて検討するのですか。

A. 理事と監事が一つの場で意見交換できる役員協議会において検討する考えです。また、役員協議会で方向性がまとまった後には、地区運営協力委員会にお諮りする考えです。

Q. 組合員の所得向上に取り組む計画になっていますが、具体的な数値目標はどのように考えていますか。

A. 個々の組合員の所得がそれぞれの方策でどの程度向上したのかを把握することは難しいですが、所得向上に向けた取り組みは地道に行なわなくてはならないと考えております。

Q. 令和元年度の経済事業計画の中で、経済事業体制の再構築として、販売専任体制の拡充とありますが、具体的な業務内容について説明願いたい。

A. 昨年度より経済部の営農販売課に特販担当として3名配置しており、主に市場や量販店に

(北札幌地区)

対する販路拡大に努めております。具体的な実績として、東経済センター厚別直売所の開設や、北雄ラッキー・イオングループと新たに取引を開始しており、今後も販路拡大に努めてまいります。

Q. 最近スーパーでカット野菜の販売が好調であると聞いています。生産者で廃棄する野菜があるのであれば、そういった野菜をカット野菜に加工して販売すれば良いのではないですか。また、JAさつぽろだけではなく全道的な視野も含み、検討してみたいかがですか。

A. 貴重なご意見ありがとうございます。カット野菜となれば加工場等も造らなければなりませんので、廃棄量の実態やコスト面も含めて検討させていただきます。

(白石地区)

Q. 年齢別、所得別などに分けて収益を分析して、組合員が農業所得を維持できるような体制をJA主導で、組合員へ指導していただきたい。

(夜間懇談会)

A. 組合として効率よく生産性を上げる機能体制づくりが必要であり、その為に、引き続き組合員からの意見、要望を重視してまいります。

※プライバシーに関する質問や、過去同様のご質問につきましては割愛させていただきますのでご了承ください。



中央地区



7月22日(月)
「大浜みやこ」かぼちゃ初セリ

秀品5玉で7万円の最高値 ホクホクの「大浜みやこ」できました！

手稲山口や石狩市の一部で栽培されるブランドかぼちゃ「大浜みやこ」の初セリが札幌市中央卸売市場で行なわれ、秀品5玉(10kg)で、昨年より1万円高い7万円の最高値がつかました。

大浜みやこは、10戸の生産者が栽培し、作付面積は約850アール。育苗研修会から圃場検見、目揃会、糖度検査、圃場の中間状況確認までを全生産者で行ない、検査員の厳格な基準に合格した質の良いものだけを「大浜みやこ」として市場に出荷しています。

今年は、5・6月と天候にも恵まれ、色のりが良くホクホクとした糖度の高いかぼちゃに仕上がりました。例年並みの収穫ができる予定で、9月中旬までに約100トンの出荷を見込んでいます。



みやこガールがPR。



大浜みやこの生産者の皆さん。

生産者直伝！キャンプで大活躍！簡単時短！

大浜みやこの男焼き～ワイルドパンプキン～



【道具・材料】

バーベキューセット
キッチンペーパー
アルミホイル
竹串
大浜みやこかぼちゃ
鳥つくね(肉)
塩・こしょう

【作り方】

- ①大浜みやこを半分に切り、種をきれいにくり抜いて好みの大きさにカットする。
- ②鳥つくねを大浜みやこの上に乗せる。

- ③アルミホイルの上に湿らせたキッチンペーパーを敷き、大浜みやこを乗せて全体を隙間なく包み込む。

蒸し焼き効果
& 焦げにくい！



- ④炭火で約30分焼く。かぼちゃに竹串がスッと通るようになったらOK！味付けは、塩・こしょうをお好みで！



7月23日(火)
「サッポロスイカ」初セリ

昨年より2週間以上早い初セリ！ 今年も甘味抜群、「サッポロスイカ」

スイカレディがPR。



大浜みやこと並ぶ手稲山口の特産品「サッポロスイカ」の初セリが札幌市中央卸売市場で行なわれ、昨年と同額、秀品2玉1万円の最高値がつかました。

サッポロスイカは手稲山口で3戸の生産者が栽培し、作付面積は130アール。砂地の畑で栽培され、果実のしまった肉質と朝晩の寒暖差が引き出す抜群の甘味に定評があります。今年の手稲山口は天候に恵まれたことから、果形が大きく糖度が高いスイカに仕上がりに、昨年よりも2週間以上早い初セリとなりました。今年も、9月中旬までに60トンの出荷を予定しています。



セリ前の試食では、
「いつも以上に甘い！うまい！」
と大好評！



7月17日(水)
第18回JAさっぽろ親睦パークゴルフ大会

篠路地区が団体の部を制覇！ 渡辺光信さん・中山米子さんが 個人の部で優勝！

第18回JAさっぽろ親睦パークゴルフ大会がえべつ角山パークランドで開催され、各地区の組合員131名(男性90名、女性41名)が参加しました。今年は天候にも恵まれ、参加者の皆さんは日頃の練習の成果を発揮すべく、ラウンドに臨みました。

例年同様ハイレベルな戦いを繰り広げた結果、篠路地区が団体優勝を達成！個人の部では、新琴似地区の渡辺光信さんと手稲地区の中山米子さんが、それぞれ優勝の栄冠を手に入れました。表彰式では、団体・個人の部の上位入賞、飛び賞、ホールインワン賞の表彰が行なわれ、会場は拍手と歓声に包まれました。



悲願の団体優勝を果たした篠路地区の皆さん。おめでとうございます!!



個人の部で優勝した渡辺さんと中山さん。

団体の部	優勝	篠路地区	スコア745
	準優勝	新琴似地区	スコア756
	第3位	白石地区	スコア757
個人の部 (男性)	優勝	渡辺光信さん (新琴似)	スコア97
	準優勝	加藤忠司さん (白石)	スコア101
	第3位	石橋秀昭さん (篠路)	スコア101
個人の部 (女性)	優勝	中山米子さん (手稲)	スコア106
	準優勝	千葉芳子さん (手稲)	スコア108
	第3位	篠田好子さん (新琴似)	スコア109
ホールインワン賞	坂東和宜さん(中央)、真嶋征子さん(新琴似)		



祝・ポーラスター40周年！ 「あぐり王国北海道NEXT」に吉田照一さんが出演

JAグループ北海道提供の広報番組「あぐり王国北海道NEXT」(HBC北海道放送)の7月27日(土)放送回に、豊平地区組合員の吉田照一さんが出演しました。

今回のテーマは、「祝40年 清田生まれのほうれん草～ポーラスターとは？」と題し、今年40周年を迎えたブランドほうれん草「ポーラスター」にスポットを当てました。

吉田さんの圃場では、吉田さんが出演者の森崎博之さんや“あぐりっこ”に栽培スケジュールを説明し、間引きや収穫体験をする場面などが収録されました。吉田さんは、終始リラックスした様子で、笑いの絶えない撮影となりました。

ポーラスターは、清田区の学校給食でも使用されていることから、その後の収録では、給食のメニューで実際に提供されているピラフやグラタン、蒸しパンを試食する様子も撮影されました。





7月10日(水)

白石統括支店 1統括支店1協同活動

あっという間に草取り完了 観察日記もばっちり！

白石統括支店では、東札幌小学校の3年生児童とともに、大豆とエダマメの畑の草取り作業を行ないました。

しばらく天気が良かったこともあり、畑は雑草だらけ！宮口理事がエダマメ(大豆)と雑草の見分け方を説明し、児童は一齐に草取りを開始しました。大量の雑草

も児童90名の手にかかればあっという間に終了。見違えるようにきれいになった畑で、エダマメの成長の様子を観察日記に記していました。夏休み明けには、いよいよ収穫です。



7月4日(木)

JAさっぽろ女性部

復興の象徴「道の駅」の見学と ディマシオの不思議な世界を体験

JAさっぽろ女性部(菅原利恵部長)では、今年度2回目の役員会を兼ねた現地研修会を開催しました。

今回は本部役員17名が参加し、今年4月にオープンした「道の駅あびらD51ステーション」と「太陽の森 ディマシオ美術館」を見学。昼食会場のレ・コードの湯にて第2回役員会を実施し、後期の事業について協議・確認しました。

午前中は気温も丁度良くお日様が出ていましたが、昼食時に外を見ると土砂降りの雨！午後から向かったディマシオ

美術館は、廃校となった旧・太陽小学校を再生して作られた美術館で、体育館の天井いっぱいに展示された世界最大の油絵(縦9m、横27m)は、圧巻の迫力でした。道中、厚真町の土砂災害被災地も通りました。未だむき出しとなった山肌や手をつけられていない倒木を目の当たりにし、示唆に富んだ一日となりました。



6月19日(水)~20日(木)

女性部白石支部

函館名物と大沼の大自然を楽しむ

女性部白石支部(生駒榮子支部長)では、部員19名が参加し、函館への1泊研修旅行を実施しました。

ハーベスター八雲では、丘の上の景色を眺めながら格別のランチを堪能。株式会社布目では、イカの塩辛工場で塩辛ができるまでの工程を学び、お土産をたくさん買いました。北島三郎記念館では、迫力

満点のロボットさぶちゃんに一同驚愕！朝市では、お店の人に乘せられるがまま、またお土産を大量購入し、赤レンガ倉庫や道の駅なないろ・ななえにも立ち寄りました。大沼では、モーターボートでクルージング。あまりのスピードに驚きながらも、快晴の中、風を感じとても気持ちの良い体験となりました。

(澤田特派員)





組合員の活動をご紹介します!

a l a c a



7月2日(火)
女性部豊平支部

増毛で旬のさくらんぼ食べ放題!

女性部豊平支部(中向道子支部長)では、部員10名が参加し、留萌方面への日帰り研修旅行を実施しました。

天気予報では完全に雨マークだった天候は現地に近づくにつれ快晴になり、最初は増毛で国稀酒造酒蔵を見学。お昼は新鮮なお寿司を食べ、その後、パプヤの里マルヨ富野果樹園にて甘〜いさくらんぼをたくさん食べ、皆さん大満足! いっぱいのお土産を手は無事帰路につきました。(北村特派員)



7月3日(水)~5日(金)
女性部西町支部

利尻富士も熱烈歓迎! 離島を満喫

女性部西町支部(竹本美知子支部長)では、部員14名が参加し、利尻・礼文へ研修旅行を実施しました。

当初天候の心配もありましたが、皆さんの日頃の精進のおかげか3日間とも好天に恵まれ、普段は雲がかかって中々見られないという利尻富士の頂上をはっきりと見る事ができました。現地ではベテランガイドさんの巧みな現地案内で盛り上がり、ウニをはじめ海の幸を十分に満喫。夜は宴会・2次会で盛り上がり、たくさんの思い出とお土産を抱えて帰路につきました。(野崎特派員)



7月10日(水)
女性部新琴似支部

令和オープンの道の駅にもいち早く

女性部新琴似支部(菅原利恵支部長)では、部員9名が参加し、安平町・由仁町方面へ日帰り旅行を実施しました。

まず向かったのは、今年オープンしたばかりの話題の道の駅あびらD51(デコイチ)ステーション。鉄道資料館での写真撮影や農産物直売所での買い物を楽しみました。その後、由仁町のゆにガーデンへ。英国風庭園を散策し、昼食はランチバイキングを堪能しました。小林酒造(株)や谷田製菓、JA道央のゆめちからテラスでも買い物を楽しみ帰路につきました。天候にも恵まれとても有意義な1日となりました。(井上特派員)





7月12日(金)
女性部琴似支部

プリザーブドフラワーでリース作り

女性部琴似支部(佐藤京子支部長)では、部員と部員ご家族14名が参加し、琴似支店にて支部研修会を開催しました。

今回はアトリエYの滝口由佳先生をお招きし、「プリザーブドフラワーアレンジメント」を行ないました。プリザーブドフラワーとは、枯れないお花で、いつまでも生花のように飾っておけるものです。色とりどりの材料の中から好きなものを選び、それぞれ自分のオリジナルでリースを作成しました。最初は賑やかだった部員の皆さんも徐々に真剣な表情に変わり、各自の個性が発揮された作品が出来上がりました。研修後は昼食会を開き、楽しい時間を過ごしました。

(中谷特派員)



6月10日(月)
酪農畜産部会琴似・手稲支部

令和1年度 牧草収量調査の実施

酪農畜産部会琴似・手稲支部(萩中昭夫支部長)では、「令和1年度牧草収量(チモシー・オーチャード)調査」を実施しました。今回は、部会員9名が参加し、午前9時に近藤牧場を出発。7地区(13戸17圃場)を3班に分け行ないました。

本年は、雪解けが早く、牧草の萌芽期は平年より3日早くなり、4月~6月上旬の気象は気温が高く、降水量は少なく推移しました。調査後、関係機関より「牧草の生育は、進んでいるものの、収量調査の結果は、昨年、一昨年と比較して低くなった」と講評をいただきました。

(増田特派員)



6月20日(木)~21日(金)
資産管理部会平岸支部・青色申告会平岸支部

初夏の富良野・美瑛で親睦深める

資産管理部会平岸支部(古屋昭男支部長)と青色申告会平岸支部(田中正義支部長)では、部会員12名が参加し、富良野・美瑛方面への合同視察研修旅行を実施しました。

1日目は、富良野方面を中心にワイン工場・チーズ工房に立ち寄り、「ファーム富田」で早咲きのラベンダーを観賞。その後は、白金温泉に向かいました。2日目は、美瑛町の「青い池」を観光し、J Aびえいの直売所「美瑛選果」でお買物。「土の館」では、館長から道内各地の地層の説明を受け、国内外のクラシックトラクターや懐かしいプラウなどの農機具を見学し帰路につきました。

2日間を通して、車中を始め懇親会も予定時間を超過するなど、会話が弾み、より両部会員間の親睦が深まり有意義な研修旅行となりました。

(細貝特派員)





6月25日(火)
そ菜部会清田支部

毎年恒例、職員との交流会開催

そ菜部会清田支部(三上芳弘支部長)では、部会員13名、職員15名が参加し、職員交流会を開催しました。

この会は、支部部会員と東経済センター職員、平成31年度定期人事異動で清田支店及び月寒支店に転入、僚店異動してきた職員とが交流を深める目的で開催。部会員から提供いただいた当地区特産のほうれん草「ポーラスター」等の野菜を景品にしたビンゴ大会も行なわれ、とても有意義な交流会となりました。



(川越特派員)



6月27日(木)
資産管理部会手稲支部・青色申告会手稲支部

今が旬！積丹でうに丼に舌鼓

資産管理部会手稲支部(高田信利支部長)・青色申告会手稲支部(久木博光支部長)では、部会員38名が参加し合同日帰り研修を実施しました。

今回の視察先は積丹半島で、去年の暮に余市まで開通した高速道路で一挙に向かいました。美国の水中展望船で積丹ブルーを船底から見学し、昼食は楽しみにしていた今が旬のうに丼。皆さん、あっという間に完食し、大満足の昼食でした。その後は、神威岬・積丹岬を望みながらお風呂で疲れを癒し、最後は余市で新鮮な魚の買い物を楽しみました。天候にも恵まれ、積丹半島を思う存分満喫し、部会員相互の親睦を深めることができた研修会となりました。



(澤田特派員)



7月9日(火)
札幌市農政部農業支援センター「農業に従事する女性のための研修会」

お洒落なカフェやケチャップ工房を視察！

札幌市農政部農業支援センターでは、平成29年度から市内の女性農業者に向けた活動支援として研修会を行っており、今年度第1回目の研修会は、市内の女性農業者11名が参加し、札幌近郊の農業関連施設(先進事例)を視察しました。

今回視察したのは、ファームレストラン「カフェ カラマ」(由仁町)、自家農園で栽培したトマトの加工施設「はるちゃんのとまとケチャップ工房」(江別市)、贈答用の道内農産物を加工する「NORTH FARM STOCK」(岩見沢市)の3施設。参加者たちは、各施設の代表から、カフェや工房を始めたきっかけ、苦労した点、営農と施設運営との両立についてなどの説明に耳を傾け、熱心に質問をしていました。

同支援センターでは、例年3回の研修を実施しており、今年度第2回目は札幌産農産物を使ったレシピ作りを予定しています(11月下旬～12月上旬頃に実施予定)。



★あなたの自慢、教えてください★

ジマンだい!



篠路地区 吹田 嘉弘さん

「ミニカーコレクション」



(NISSAN BLUEBIRD SSS one of 2976pcs)



実際にラリーに出場
していたこともあり、
競技車輛にも
魅せられます!

(NISSAN BLUEBIRD RALLY 1970
Safari rally winner one of 2760pcs)

篠路地区 吹田嘉弘さんのお宅には、長年かけて集めた貴重なミニカーの数々がずらりと並んでいます。飾られているのは、ほんの一部で、コレクション全てを合わせるとその数なんと1,450台!! 中学2年生頃から集め始め、コレクター歴は50年以上です。

「一番最初のミニカーは、お菓子の点数を集めて手に入れた、イギリスのミニカーブランド マッチボックスの緑のフェラーリ。1970年にはトミカのミニカーが発売され、世間的にもミニカーブームが到来し、私もどんどんはまっていきました。

昔のミニカーはドアが開いたりボンネットが開いたりギミック(仕掛け)が色々あり、そこまで精巧な作りではないけれど味があります。最近、ギミックがあるミニカーは減りましたが、本物と見間違えるほどに精巧な作りなんですよ。

実は、初期に集めていたミニカーは、子どもに遊ばせているうちにボロボロになり、処分後に後悔していたものもいくつかあります。近頃、ミニカー専門店は少ないですが、ネットオークションなどで出品されていることも多く、そうした品を再び手に入れたり、子どもの頃に買えなかったものを見つけることもあり嬉しく思っています。時折、箱から出して眺めつつ、晩酌するのが、至福のひとつですね」



コーナータイトルは、きゅうりやトマトなどに一般的に殺菌剤で使われている「ジマンダイセン」をアレンジしたものです。

青年部員が「たまねぎフェスタ」で新鮮野菜を販売します！

JAさっぽろ青年部(平賀農部長)では、農業PR事業の一環として、今年もサッポロさとらんどで行なわれる「たまねぎフェスタ」で札幌産農産物の直売を行ないます！

丘珠地区で作られたたまねぎを中心に、青年部員が丹精込めて育てた新鮮野菜を多数取り揃えて、札幌の農業をPR。毎年、売り切れ商品続出のイベントですので、ご来場はお早めに！皆さまのお越しを部員一同お待ちしております。



サッポロさとらんど「たまねぎフェスタ」

開催日時

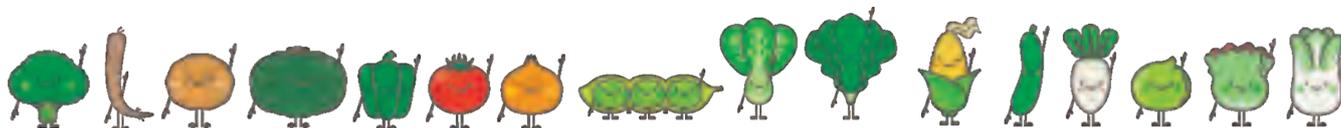
9月21日(土)・22日(日)
10:00~16:00

※「たまねぎフェスタ」は9/21~23の3日間の開催です。
なお、青年部による直売は商品がなくなり次第、終了となりますので、予めご了承ください。

場所

サッポロさとらんど交流館
札幌市東区丘珠町519-1

※第6駐車場をご利用ください。



「食と農でつながるサポーターづくり優良事例表彰」最優秀賞を受賞しました！

昨年9月に開催した「JAさっぽろ合併20周年感謝祭」の取り組みが、JA北海道中央会による「平成30年度食と農でつながるサポーターづくり優良事例表彰」において最優秀賞を受賞しました。

この表彰は、第28・29回JA北海道大会で決議された「道民と食と農でつながるサポーターづくり活動」の優良JAを選定し表彰するもので、その活動事例を広く紹介し、JAグループ北海道の価値向上と情報発信活動の一層の充実に資することを目的としています。

組合員皆さまのご理解・ご協力のもと実施した同イベントが、このような貴重な賞をいただけたことに役職員一同心より感謝申し上げます。今後とも、皆さまからなお一層信頼されるJAを目指し、札幌農業の魅力発信とJA事業の理解促進に努めてまいります。



理事会だより

◆第3回定例理事会

令和元年6月26日(水)午後1時00分より本店役員会議室において第3回定例理事会が開催された。

●協議事項

- 1、平成30年度決算監事監査回答書案について
平成30年度定期(決算)監査で指摘された、課題ならびに改善を要する事項に対する回答内容が説明され、可決決定。
- 2、信用貸付金の取り扱いについて
「融資案件(新規案件・信用貸出金2千万円超)」に基づき、手稲支店扱いの信用貸付金1件について、申込者、申込事項、取組経過等が説明され、可決決定。
- 3、金融機関貸付金の取り扱いについて
「融資案件(新規案件・金融機関貸付金5億円超)」に基づき、本店営業部扱いの1社に対する金融機関貸付内容が説明され、可決決定。

●報告事項

- 1、農業協同組合検査に係る改善状況等指示書の受領について
- 2、地区別懇談会での質問・意見等の報告
- 3、令和元年度第2四半期余剰金等運用計画額および運用方針について
- 4、不良債権経過報告
- 5、5月末財務状況報告
- 6、5月末組合員加入・脱退状況及び未済持分譲渡報告
- 7、6月の動静と7月の予定について
(閉会・午後2時10分)

◆第1回臨時理事会

令和元年6月28日(金)午後4時55分より共済ビル8階会議室において第1回臨時理事会が開催された。

●協議事項

- 1、専務・常務の決定について
第21回通常総代会において(新)理事者が決定されたことから、執行部協議等により、専務には丸岡晃氏(学識経験者)、常務には、土田孝夫氏(学識経験者)及び水嶋仁光氏(学識経験者)の3名の学識経験者で専務理事、常務理事を執行することが提案され、可決決定。
- 2、専務理事および常務理事の担当決定について
専務理事は丸岡理事が担当し、所轄部署は経営企画室、総務部、人事部、融資審査部、相談部とする。また、常務理事は土田理事が担当し、所轄部署は、金融部、共済部、本店営業部を水嶋常務理事が、経済部を土田常務理事が担当する旨が提案され、可決決定。
- 3、組合長職務代理順位並びに理事会招集代理者順位について
定款第35条第4～6項の規定による組合長職務代理順

位、及び定款第56条第2項の規定による理事会招集順位について提案された。なお、職務代理順位については、常務理事のみの変更であり、また、理事会招集順位については、第2順位から第4順位の変更である事が補足説明され、可決決定。

4、常勤理事にかかる事務引継ぎの立会人の指名について
砂川前専務理事の退任、丸岡理事の専務理事就任に伴う事務引継ぎ及び、水嶋常務理事の一部担当部門の変更に伴う事務引継ぎの立会人として、土田常務理事を指名し、また、土田常務理事の一部担当部門変更に伴う事務引継ぎの立会人として水嶋常務理事を指名したい旨が提案され、可決決定。

5、退任理事に対する退職慰労金の支給の決定について
退任理事1名に対する退職慰労金を第21回通常総代会の承認を受け、役員退職慰労金規程の基準に基づき、支給方法並びに支給時期等についての内容が説明され、可決決定。

6、北海道へ提出する行政庁用業務報告書について
農業協同組合法の定めにより、総代会終了後2週間以内に理事会の承認を得て行政庁へ報告する事が義務付けられている事、記載事項についても省令で定められており、内容については総代会資料に連結財務諸表等を加えたものである事が説明され、可決決定。

7、令和元年7月から令和2年6月までの各理事の報酬額の決定について
総代会で決定した令和元年7月から翌年6月までの理事報酬総額並びに理事報酬総額にかかる個別理事報酬(案)が説明され、可決決定。

●監事会報告事項

1、各監事の報酬額に関する報告
(閉会・午後5時33分)

JAさっぽろDATA

(令和元年6月末業務実績) (令和元年5月末業務実績)

組合員数	正組合員	3,718名	正組合員	3,720名
	准組合員	31,832名	准組合員	31,753名
	合計	35,550名	合計	35,473名
出資金残高	57億8千5百万円		57億7千6百万円	
販売取扱高	3億1千1百万円		1億6千8百万円	
購買供給高	3億3千5百万円		2億2千5百万円	
貯金残高	3,262億3千3百万円		3,248億5千1百万円	
融資残高	864億6千3百万円		873億8千7百万円	
共済保有高	5,973億9千2百万円		5,980億8千3百万円	
施設建設取扱高	0円		0円	
管理受託戸数	4,543戸		4,503戸	

JA共済代理店 美住自動車工業(株)が 新契約増加件数、道内1位で表彰!



この度、JA共済代理店の美住自動車工業(株)が、JA共済自動車指定工場協会のニューパートナーズ表彰を受賞しました。

この表彰は、自動車・自賠責共済の新契約件数が前年度に比べて30件以上増加し、県本部協会において最上位の工場に対して贈られます。同社においては、自動車・自賠責共済の普及推進活動を積極的に展開し、平成30年度の新契約件数が前年比42件増で道内1位に輝きました。この功績は、JA共済事業に多大な貢献をされたものであり、心より感謝とお祝いを申し上げます。



JAさっぽろ野球部 石狩管内JA野球大会 たくさんのご声援、 ありがとうございました!

第61回石狩管内JA野球大会が6月29日(土)・30日(日)の2日間、石狩市青葉公園野球場にて開催され、JAさっぽろ野球部(斉藤竜太監督:新琴似支店)を含む、管内5チームが熱戦を繰り広げました。

JAさっぽろ野球部は1回戦【対 JA新しつ】8-0で快勝し、準決勝【対 JA北いしかり】に臨みましたが、健闘むなしく1-3で惜しくも敗れました。

当日は、強風吹く気温の低い中にも関わらず、多くの組合員の皆さまから温かいご声援をいただきました。今シーズンの活動も残りわずかとなりましたが、引き続きJAさっぽろ野球部の応援をよろしく願いいたします。



さとらんど

さとらんどにて、様々な講座を実施中!

8月25日(日)から
受付開始!

和菓子作り

練りきりと鹿の子を作ります



- 日 時: 9月12日(木) 10時30分~12時30分
- 場 所: さとらんどセンター
- 定 員: 16名
- 参加費: 1,300円

食育講座

季節野菜たっぷりの肉まんを作ります



- 日 時: 9月21日(土)・22日(日)・23日(月・祝) 10時30分~11時30分
- 場 所: さとらんどセンター
- 定 員: 各8組(大人1名から参加可。3名まで入室可)
- 参加費: 800円

*申込みは、さとらんどセンターまでTELまたは直接受付ください。

【お問い合わせ】サッポロさとらんど 〒007-0880 札幌市東区丘珠町584番地2 TEL(011)787-0223